

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 144 9月号

2017年9月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

## 読書と私 No.135

### 「昔話が持つチカラ」

神岡町 武内 みちる

今日は、昨年から続けている月1回の地元の小学校への読み聞かせボランティアの日。可愛いキラキラの瞳たちに出会えるワクワクの日。保育士時代に憧れていた“普段着にスカート”の出立ちで教室へ。文学遊びやわらべ歌で遊び進めていくうち、真剣に聞いてくれる子ども達の目と心がピタッ!!と重なり合う瞬間は、生きている実感を味わえる至福のひと時です。

私が子育て中に勇気づけてもらった一冊、『子どもに語るアジアの昔話』の「黄太郎 青太郎」は、父親が可愛い娘達のために立派な婿を探す話です。どちらの婿がふさわしいかの父親からの厳しいチェックにも<sup>ひる</sup>怯むことなく、淡々と受け答えする姿は立派で、思わず笑ってしまいます。現在3人の子ども達も成人していますが、我が家の青太郎・黄太郎も比べることなくそれぞれの個性を大切に、「どっちもいい」の昔話のメッセージの如く、それぞれの場所で人生を謳歌しています。



『子どもに語るアジアの昔話』  
松岡 享子 訳 こぐま社

今は、ハイテクで便利な世の中になってきましたが、人と人との生の関わりは徐々に希薄になってきたように感じます。昔話にはまだまだ私達の知らない“愉快で、美しい、不思議な話”がたくさんあります。健康な笑いが少なくなっている今、屈託のない大笑いできる話は貴重です。今を生きている子ども達の想像力や柔らかい心を、大切に育てていけたらどんなに素敵でしょう。あなたも図書館に“ほっこりさせてくれる宝物”を見つけに行きませんか？

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『装いの王朝文化』 川村 裕子 著 KADOKAWA



衣服の持つ最も大きな役割は、身体そのものを守ることであるが、役割はそれだけではない。本書は、古典作品に登場する王朝装束に焦点をあて、衣服が当時どのような役割を持っていたのかを読み解いたものである。

著者が、「衣が人の顔になり」と表現するように、装束の形・種類・色彩・着装などが一瞬にして人の視覚に飛び込んでくるため、衣とその人の人格には強い相関関係があるように判断されがちである。しかし着ている物とその人物に明確な乖離がある例として1人の男性が紹介されている。『源氏物語』に出てくる鬚黒ひげくろと呼ばれる人物である。この右大将鬚黒は、「色黒く鬚が

ち」と描かれ、その容貌は一見すると野性的で、無骨で野暮な印象を与える。しかし実際の彼は、不恰好を嫌い、香水道具を用いたり、布地のやわらかさを調整したりと、衣に対しての執着と情熱と美意識を明確に持っていたのである。衣をまとった彼の美しい姿は、光源氏と比較されたり、多くの男性の憧れの的であった玉鬘たまかづら（頭中将の娘）を射止め、周りの女房たちにも賞賛されるほどの男性であった。

著者は王朝装束について、華麗さの象徴だけではなく人の期待、願望、嫉妬などの象徴であったと述べている。衣は、人間関係や人の心を表現するものであったことが、様々な古典作品の新解釈とともに「衣が語るもの」として紹介されており、他の古典作品への興味をも掻き立てられる1冊である。（龍野図書館 河部）

**トピックス** イベントのお知らせ ※申込、問い合わせは各図書館まで

**巡回展示** **龍野図書館**

**鳥たちの落としもの  
～ 兵庫の鳥の羽根展示 ～**

美しさと機能性を併せ持つ、鳥の羽根の展示とその説明会を開催します。

《展示》 【期間】 9月1日（金）～29日（金）

《説明会》 【講師】 市原 晨太郎さん

【日時】 9月10日（日）11時～11時30分  
【場所】 龍野図書館  
【申込】 不要

**御津図書館**

**えほんのしかんのまに  
おりがみ教室**

小さい子でもできる折紙の教室をします。お楽しみに！

【日時】 9月17日（日）  
10時30分～10時50分

【場所】 御津図書館  
【対象】 4歳以上（小学1年生以下は保護者同伴）  
【定員】 10名（先着順）  
【持ち物】 おりがみ・黒マジック  
【申込】 御津図書館（電話可）

**揖保川図書館**

**「源氏流いけばな」展示**

講演会「龍野の源氏流いけばな」にちなみ、源氏物語を題材とした「源氏流いけばな」を再現展示します。

【期間】 9月16日（土）～18日（月・祝） 10時～18時 【場所】 揖保川図書館

**図書館の特別整理日(休館)について**

特別整理日は、本の点検や移動作業など閉館中にできない作業をします。ご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。

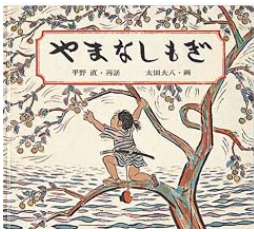
【期間】 揖保川図書館 9月28日(木)～10月6日(金)  
新宮図書館 10月5日(木)～10月18日(水)  
龍野図書館 10月17日(火)～10月25日(水)  
御津図書館 10月20日(金)～10月27日(金)

**特別整理日の期間中の返却について**

開館してる図書館や返却ポストへ返してください。ただし、DVD・CDなど壊れやすいものは開館後に図書館窓口へ返してください

## おすすめする子どもの本・133

### 『やまなしもぎ』 平野 直 再話 福音館書店



むかし、あるところにおかあさんと3人の兄弟が住んでいました。体の具合の悪いおかあさんが、「奥山のやまなしが食べたい」と言うので、1番上のたろうが出かけていきました。しばらくいくと、古い大きな木の切り株の上にひとりのばあさまが座っていて、赤い欠け椀に水をくんできてくれないかと言います。たろうが、やまなしを取りに行くので忙しいと断ると、ばあさまはこの先の分かれ道は笹が示している方に行くようにと教えてくれました。けれども、たろうはばあさまの言葉を忘れて、間違った道へ入っていきました。そして、沼のそばのやまなしの木に登ったとたん、沼の主に見つかり、げろりと飲み込まれてしまいます。次に出かけたじろう

も同じでした。

最後に出かけたさぶろうは、ばあさまに水をあげると、よく切れる刀と赤い欠け椀をもらいました。笹の示してくれる道を選んで沼に着いたさぶろうは、うまくやまなしを取りましたが、木から下りるときに影が水に映って、沼の主が襲いかかってきました。そこでさぶろうが、ばあさまにももらった刀で沼の主に切りかかると、主は切られたところからくさって、参ってしまいました。

不思議なばあさまの刀で沼の主と戦うさぶろうの勇気や優しさが心に残り、やまなしを無事に持ち帰る結末にほっとします。日本画の技法を生かした絵は、山奥の自然と不気味な沼の主の姿を描き出します。読んであげるなら4歳くらいから。

(新宮図書館 藤川)

### 『エーミルはいたずらっ子』

アストリッド・リンドグレン 文 石井 登志子 訳 岩波書店



スープが大好きなエーミルは鍋の底に残ったスープまで飲み干そうと頭を鍋に突っ込んで、頭が鍋から抜けなくなりました。

お母さんがエーミルを助けるため鍋を火かき棒でたたき割ろうとすると、上等の鍋を壊されては困る、とお父さんが止めます。診察代の方が鍋より安いと診療所に行きますが、エーミルが医者に深くお辞儀をした拍子に鍋が机にぶつかってまっふたつに割れてしまいました。お父さんは、これで4クローナむだになった、と嘆きますが、医者に、私が診ていたら5クローナかかったので1クローナ得をされましたな、と言われて喜びました。家に帰

り、お父さんは割れた鍋を接着剤でくっつけました。元通りになった鍋を見た妹のイーダが、エーミルにどうやって頭を鍋に入れたのか尋ねると、エーミルは「かんたんさ」と言って頭を鍋につっこみました。ちょうど台所に入ってきたお母さんが見たのは、頭が鍋から抜けなくなって大騒ぎしているエーミルとイーダでした！

静かでのどかなスウェーデンのスモーランド地方を舞台に、活発で憎めない5歳のエーミルが巻き起こすいたずらは生命力とユーモアに満ち溢れています。

他にも妹を旗立て柱につるす話などがあります。続編は『エーミルとクリスマスのごちそう』『エーミルの大すきな友だち』です。小学2年生くらいから。

(御津図書館 上田)

# 9月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

## ★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

### 龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

9日(土)・16日(土) 11時～11時20分

『たまごのあかちゃん』他

### 新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

11日(月)・17日(日)・25日(月) 11時～11時20分

『10ぱんだ』他

### 揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者

2日(土)・9日(土)・16日(土) 10時30分～10時50分

『ねこがいっぱい』他

### 御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

10日(日)・17日(日)

11時～11時20分

『ペンぎんたいそう』他

【対象】5歳児～

10日(日)・17日(日)

11時30分～11時50分

『したきりすずめ』他

## ★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

### 新宮図書館

2日(土)・9日(土)・16日(土)・30日(土)

10時15分～10時45分

「三びきのこぶた」他

### 揖保川図書館

2日(土)・9日(土)・16日(土)

11時～11時30分

「三枚のお札」<sup>ふだ</sup>他

## ★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

### 龍野図書館

8日(金) 10時～11時30分

『遠い唇』北村 薫 著

### 揖保川図書館

15日(金) 10時～12時

『かぎりなくやさしい花々』

星野 富弘 作

### 御津図書館

20日(水)

13時30分～15時30分

『浮雲』林 芙美子 著

## ★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

### 龍野図書館

14日(木) 10時～11時30分

『妖精のキャラバン』ピアトリクス・ポター 作



## ■ 館内特集・展示 (一部紹介)

### 龍野図書館

#### 生き抜く!

過酷な運命を生き抜いた先人たちの記録、サバイバルの方法、心を強くするコツ…こんな時代だからこそ、生き抜くチカラになる本を特集しています。

【期間】9月29日まで

### 新宮図書館

#### カテゴリ別ミステリ案内【国内編】

密室、誘拐、アリバイ崩し、犯人当て、ユーモア溢れるものや、殺人の起こらない日常の謎などカテゴリ別に古典から最新のものまで推理小説を集めています。

【期間】10月4日まで

### 揖保川図書館

#### たがやす

cultivate《たがやす》は、culture《文化》の語源です。土壌をたがやすことで豊かな実りを得ることができます。作物も人間も。

【期間】10月中旬まで

### 御津図書館

#### 祭り

秋といえば祭り! 日本の祭りから世界の祭りまで、祭りの本を集めました。このしろ寿司やご馳走の本など、お客様を迎える準備に役立つ本も集めています。

【期間】10月19日まで